

# 点字考案 200 年記念フォーラム

～点字誕生 200 年を機に点字文化の未来を考える～

見えない・見えにくい方の自立と社会参加に「点字」が果たしてきた役割を学ぶとともに  
これからの点字文化の未来を考える場にしたい

2025 年 **9** 月 **6** 日 (土) 13:00～16:00 (受付 12:00～)

米子コンベンションセンター第7会議室 (6階)

鳥取県米子市末広町 294

鳥取市・倉吉市・松江市で会場配信あり

定員 100 名程度

※見えない・見えにくい方の福祉や点字に関心がある方であれば  
どなたでもご参加いただけます

点字が考案されてから  
2025 年で 200 年に  
なります



参加  
無料

## 【基調講演】

佐木理人氏



佐木理人氏

毎日新聞論説委員 兼 「点字毎日」編集次長専門記者、全盲。

1973 年大阪市に生まれる。生まれつきの弱視で中学生の頃、ほぼ全盲になり、点字の読み書きや白杖歩行を始める。9 年余り盲導犬ユーザーでもあった。

2005 年から点字毎日に勤務。2020 年から毎日新聞でコラム「心の眼」を、2022 年から毎日小学生新聞で「6つの点 白いつえ」を執筆中。

## 【体験談発表】

点字ユーザー 2 名の方に、体験談の発表をしていただきます。

主催：社会福祉法人鳥取県ライトハウス点字図書館

共催：社会福祉法人島根ライトハウスライブラリー、倉吉市教育委員会

後援：鳥取県、公益社団法人鳥取県視覚障害者福祉協会、鳥取県見えにくい人を考える会、

鳥取県網膜色素変性症当事者の会、鳥取盲ろう者友の会 友輪、

公益社団法人島根県視覚障害者福祉協会、

ライトハウスライブラリーボランティア連絡協議会

裏面に日程の詳細と申込方法があります

## 【日程及び内容】

- 13時 開催  
13時10分 基調講演(60分)―演題「点字文化の現在と未来について」  
講師:佐木理人氏  
14時20分 体験談(各30分)―「私と点字」  
発表者:点字ユーザー2名  
15時30分 質疑応答(20分)  
16時 フォーラム終了

### ▶ 同時開催

点字ディスプレイ(通常の活字文書を点字表示する装置)等の展示・体験会  
米子コンベンションセンター第4会議室(5階) 10:00~16:00

## 【会場配信】

- ▶ 鳥取県鳥取市会場 定員 50 名  
とりぎん文化会館 第4会議室 (鳥取市尚徳町 101-5)  
▶ 鳥取県倉吉市会場 定員 25 名  
倉吉交流プラザ 第3研修室 (倉吉市駄経寺町 187-1)  
▶ 鳥根県松江市会場 定員60名 \*駐車スペースに限りがあります  
社会福祉法人鳥根ライトハウスライトハウスライブラリー (松江市南田町 141-10)

## 【問い合わせ・申し込み先】

社会福祉法人鳥取県ライトハウス 点字図書館  
担当:谷川、伊藤、鳶(シマ)  
〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉 3-18-3  
(TEL 0859-22-7655 FAX 0859-22-7688)  
\*電話、FAX、Google フォーム(鳥取県ライトハウスホームページにも  
掲載しています)のいずれかでお申し込みください。

申し込み締切 8月31日(日)  
定員に達した場合は鳥取県ライトハウスホーム  
ページでお知らせします

\*申込用 Google  
フォーム QR コード



## 点字考案 200 年記念フォーラム FAX 用参加申込書

\*荒天等により当日中止・変更になる場合は鳥取県ライトハウスのホームページでお知らせいたします。  
\*当日やむを得ず参加できない場合、ご連絡は不要です。

ご氏名	お住まいの市町村 または所属	差し支えなければご記入ください
電話番号	メールアドレス	
参加会場	米子市 鳥取市 倉吉市 松江市	ご希望の会場に○をしてください

【個人情報の取り扱いについて】 ご記入いただいた個人情報は、本フォーラムに関わる目的のみに利用させていただきます、その他の目的には一切利用いたしません。